

山口大学は、 アカデミックドクター (高度学術医)を 育成します。

アカデミックドクターとは

生命、病気及び医療を科学的な観点からとらえることができ、生涯続く研究心(学術的向上心と探求心)と国際的視野を持ち、特に大学等の医学研究活動を通じて、世界レベルで活躍することができる医師や医学者です。

高度学術医 育成コース

高度学術医育成コースは、2つのプログラムから構成されます。原則学部4年生からの履修となり、研究室に配属され、研究指導を受けることができます。

■高度学術医育成特別プログラム 「SCEAプログラム」

SCEA: Specially Selected Cutting-Edge Academic
社会的要請の強い法医学、病理学等の基盤系分野の研究医育成のため、文部科学省から本学科に設置が認められました。年間2名の履修者に奨学金を貸与しています。

■高度学術医育成一般プログラム 「AMRAプログラム」

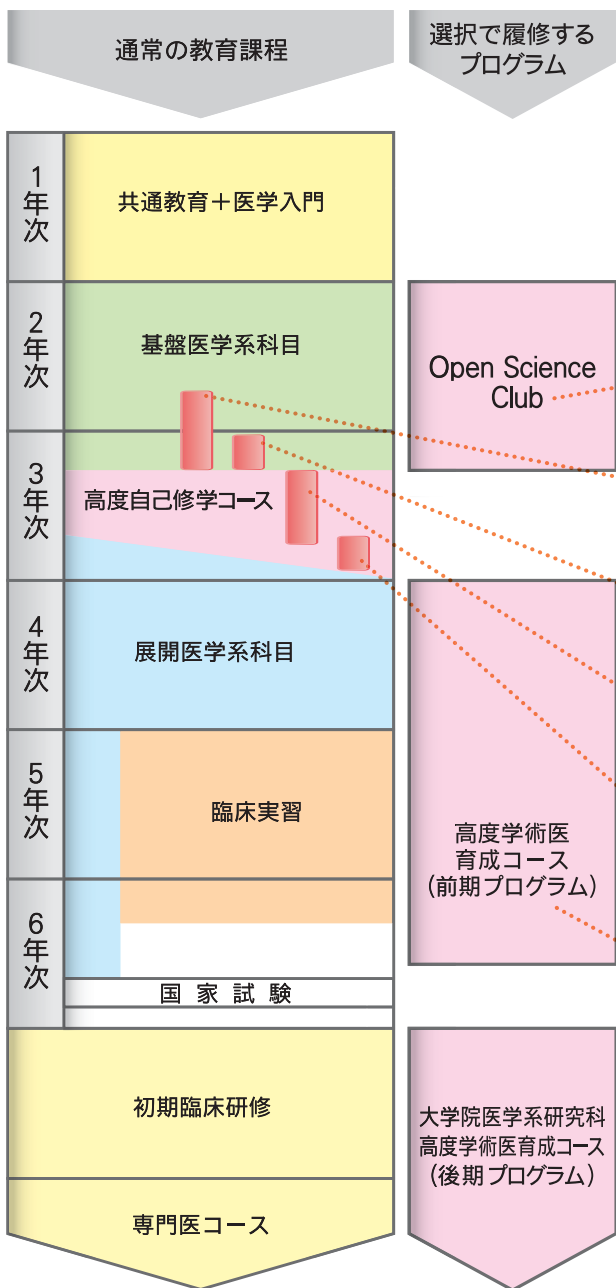
AMRA: Advanced Medical Research Academic
基礎、臨床を問わず、研究マインドのある医師・医学者を育成する山口大学独自のコースで、基礎系及び臨床系大学院進学を志向します。



YAMAGUCHI UNIVERSITY

山口大学 医学部 医学科

アカデミックドクターを目指す医学生は、通常の教育課程に加え、別プログラムを選択して履修します



高度学術医育成コースを履修するメリット

- 大学院進学を強く奨励するため、学部在学中から大学院授業の受講が先取りできます
- 「高度学術医育成コース外国語試験を受験し合格することで、大学院入試の英語試験の受験免除を行うなど、大学院入学・進学が有利になります
- 学部学生期間中に、筆頭者として学会発表及び学術論文発表(共著でもよい)をしている場合に、大学院を3年間で修了できます
- SCEAプログラム履修生は年間2名に限り奨学金の貸与を受けることができます



Open Science Club:

学生が研究室に自由に入出入りができ、教員との絆を形成しながら研究に楽しむ環境・雰囲気作りを行っています

重点統合コース:

基礎研究をテーマにグループ学習を行い、互いのディベート能力、論文検索・読解能力、プレゼンテーション能力を養います

基盤系特別専門講義:

学内外の研究者を招聘し最先端の講義を行い、学問のおもしろさを知ってもらいます

自己開発コース:

実践的な研究活動を通じて、具体的な研究方法を学び、学問的並びに人間的成熟を促します

修学論文チュートリアル:

自己開発コースの中で行った研究活動を、チューター指導下で論文としてまとめることで、科学論文作成能力と発表能力を習得させます

高度学術医育成コース(前期プログラム):

各講座教員の指導のもと、課題を各自で設定し、研究活動を学会発表や論文発表する機会を与えています

教員代表

機能神経解剖学分野教授

篠田 晃



忙しい時間を縫って意気揚々と研究室で実験し、教員と同じ立場で真剣に議論し、実際に学会発表

を行い、論文を書いている学生の姿を見ると、本物の輝きを感じます。若い時代の成功体験の波動は、生涯心を揺らします。是非とも大学のアカデミズムとグローバルな世界を体験し、勇気をもって夢への挑戦を始めてください。そして山口県及び日本の、延いては世界の将来を支え、何処へ行っても周囲の心を動かす医師・医学者になっていただきたいと思っています。

学生代表

山口大学医学部医学科4年生(H24)

山下由美子



自己開発コースでは研究の一端に触れることで、自分で手を動かして実験することの楽しさや真実

を証明することの難しさを知ることができました。また、実験と考察を繰り返すなかで、座学だけではなかなか修得しづらい「考える力」を身につけることができたように思います。現在はSCEAコースで楽しく実験を続けています。研究室に配属される前までは臨床の道しか頭にありませんでしたが、研究の魅力を知った今、その道も考えてみようと思っています。

お問い合わせ